

平成 22 年度 第 1 回会計学教育 FD/ICT 活用研究委員会 議事概要

I. 日時 : 平成 22 年 6 月 19 日 (土) 午前 11 時から午後 1 時まで

II. 会場 : 私立大学情報教育協会 事務局 会議室

III. 出席者 : 岸田委員長、河崎委員、福浦委員、松本委員、阿部委員
(事務局) 井端事務局長、森下主幹、渡邊職員

IV. 議事概要

1. 検討内容

会計学教育における学士力を学生が習得するにあたり、どのように ICT が活用できるかについて議論をおこなった。

はじめに学士力のどの部分に ICT を活用することが学習効果をあげる上で重要かを検討した。ICT に対する大学ごとの環境の相違や学生の習熟度の違いを指摘する意見等がだされたが、どこの大学でも活用可能なできるだけ汎用性の高い提言をおこなうべきであるとの認識を確認し、到達目標のなかから比較的 ICT を活用することによって学習効果が見込まれる次の 3 つの領域を選定した。

- (1) 企業会計の一巡過程を理解している、および会計情報の読み方を理解している。
- (2) 会計情報システムの概念、データベースなどを説明できる。
- (3) 情報開示制度を理解し、利用できる、および会計情報を利用して投資意思決定の支援できる。

(1) は一般レベルからの選定であり、財務三表について表計算ソフトを使用して作成し、数値の変化を見る方法や、仕訳から財務諸表作成までのプロセスについて Web 技術を利用して作成させる方法などが提案された。

(2) および (3) は専門レベルからの選定であり、領域自体がコンピュータの活用をメインとしているため、ICT を利用することによって学生の授業理解を大きく向上させることができるのではないかとの意見が多かった。

また、ICT の活用方法についても検討がなされた。全 15 回の授業の内、どの程度の ICT を導入するのか、またどのようなツールを活用すべきかなど活発な議論がおこなわれた。自主学習的な使い方も考慮した方がよいなどの意見もあったが、結果、ICT を使った方がいい箇所とそうでない箇所を吟味しながら、従来の板書を中心とした授業を補助するようなイメージで、特に ICT の活用経験のない教員でも使用できるような方

法を考えていくことが確認された。

続いて「会計学教育における情報教育（中間まとめ）」に対して寄せられたコメントについて、どのように回答すべきか、また修正が必要かどうか議論をおこなった。その結果、到達目標1については【教育内容・教育方法】の箇所から Yahoo ファイナンスの記述を削除する。到達目標3については【到達度】の③について、「会計情報の信頼性担保の仕組みの可能性と限界を理解できる。」に修正がおこなわれた。

2. 次回までの宿題

・内容

ICT を活用すべきと指摘した3つの領域、すなわち

- (1) 企業会計の一巡過程を理解している、および会計情報の読み方を理解している
- (2) 会計情報システム概念、データベースなどを説明できる
- (3) 情報開示制度を理解し、利用できる、および会計情報を利用して投資意思決定の支援できる

について、具体的にどのように ICT を活用すべきかを考える。

・提出期限

2010年8月20日

・提出方法

メーリングリストにご投稿ください。

3. 次回の委員会

日時：2010年8月26日 13時30分～16時30分

場所：私立大学情報教育協会 事務局会議室

以上